

令和5年度 第6回生駒市行政経営会議

案件1 子ども未来会議の報告について（子育て支援総合センター）

<概要>

- ・令和6年度予算を踏まえ、少子化の緊急対策として取組を取りまとめた。
- ・出生数の動向は依然厳しい状況が続いており、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。
- ・次年度以降、組織改編もあることから、子ども未来会議そのものの会議の運営についても効率的な形で運営できるように検討していきたい。

<会議での結論>

了承

【主な意見】

- ・出生数が依然厳しい状況が続いていることから、もっと全庁的に危機感をもって協力しながら、取組を検討・実施していってもらいたい。市全体として取り組んでいく必要がある。
- ・市の少子化に関する取組をもっと積極的に情報発信してもらいたい。
- ・転入増については、開発とも連動しているものと考えられることから、こういった地域で開発が行われて増えていっているのかといった細かい事項についても調査されたい。

案件2 令和6年度予算編成について（財政課）

<概要>

- ・令和6年度予算案については、一般会計で令和5年度と比較して55億5,600万円、13.4%の増となった。増となった大きな要因としては、清掃センターの基幹的設備の改良工事、給与改定等に伴う人件費等に伴うものとなっている。
- ・款別では、総務費で約8億1,000万円、民生費で約15億6千万円、衛生費で約18億円、教育費で約7億4,000万円の増となっている。

<会議での結論>

了承

【主な意見】

特になし

案件3 第6次生駒市総合計画第2期基本計画の策定について（企画政策課・行政経営課）

<概要>

- ・総合計画審議会において、12月25日から1月25日までの間、第2期基本計画案のパブリックコメントが実施され、9名から28件の意見が提出された。併せて市議会よりパブリックコメント案に対する意見が14件提出された。
- ・上記の意見の取扱いについて、2月5日の総合計画審議会全体会において審議され、第2期基本計画案を確定し、同日に市長に対して答申をいただいた。
- ・総合計画審議会からの答申案を踏まえ、市議会3月定例会に議案として提案する予定となっている。
- ・「行政改革大綱の見直し案」については、12月25日から1月25日までの間、パブリックコメントが実施され、1名から11件の意見が提出され、2月1日の行政改革推進委員会で審議され、考え方がまとめられた。

・第2期基本計画第6章に係る部分の意見はなく変更は無かった。

<会議での結論>

了承

【主な意見】

- ・約1年間、時間をかけて策定してきたものであることから、職員・市民との共有に向けた、周知をしっかりとってほしい。
- ・第2期基本計画に基づく取組であるアクションプランについて、令和6年度分については予算にも反映されているが、令和7年度実施に向けて今から検討してほしい。

案件4 その他（市民部・市長公室）

<概要>

- ・窓口DXについて、令和6年度から本格的に取り組んでいく予定。各課の定型的な手続きの受付代行を主とした窓口設置を目指し、非定型のものについては各課対応となる。まずは、アナログ業務の改善を進めていき、いずれはシステムを導入する。窓口DXの手始めとして、本年5月に「おくやみサービス」の開設を予定している。

【主な意見】

- ・窓口については、すべての部で関連する。まずは業務の棚卸しからはじめて、それぞれの業務の簡素化・デジタル化を検討してほしい。窓口DXは大きな取組だが、小さなデジタル化は若い職員でもできる。若い職員の自主的な取組を支援してほしい。
- ・デジタルを活用して市民の意見を直接聴く仕組みを整備していることから、こうして得られる意見も窓口DXに活かしていく。
- ・各部におかれては、書かない・待たない・回さない窓口の実現に向けて、既存の事務手続きの必要性も含めて検討してほしい。

<概要>

- ・令和6年4月1日付けで組織改編を行うが、各部の事務分掌について、調整が必要となる部分が出てくるとともに、庁舎内レイアウトについても、ご協力をお願いしたい。

【主な意見】

特になし